月刊地域医学 投稿規定

2026年5月改訂

1．編集方針

『月刊地域医学』は，地域医療・プライマリ・ケア・総合診療に携わる全ての医療従事者の教育，研究，実践，政策を共有し，地域医療の発展に寄与することを目的とする．

Webジャーナルを隔月で発行し，投稿論文の早期公開を重視する．

2．投稿者および投稿条件

地域医療に関わる全ての者の投稿を受け付ける．会員・非会員を問わない．Corresponding Author（責任著者）は1名とし，全ての共著者の同意を得て投稿すること．国内外の他雑誌等に未発表のもの，あるいは現在投稿中でないものに限る．

3．倫理的配慮

ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき，対象者の保護には十分留意し，説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと．また臨床研究においては，所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認を得ること．編集委員会からその承認番号の記載を求められた際には応じること．なお，倫理委員会より承認の非該当となった場合には，その旨を記載する．症例報告については，個人が特定されない形での報告とし，倫理委員会の承認を必須としない．

4．生成AIの使用について

投稿者が執筆過程で生成型人工知能（AI）およびAI支援技術を使用する場合，これらの技術は可読性と言語の改善にのみ使用すべきである．技術適用には人間の監督と管理が必要であり，AIは誤り・不完全・偏った内容でありながら権威的に聞こえる出力を生成し得るため，著者は結果を慎重に確認・編集しなければならない．AIおよびAI支援技術は，著者または共著者として記載したり，著者として引用したりしてはならない．著作者としての地位は，人間にのみ帰属し遂行可能な責任と任務を意味する．著者は原稿において，執筆過程でのAIおよびAI支援技術の使用を，著作物に開示声明として記載する．著作物の内容に対する最終的な責任と説明責任は著者に帰属することに留意すること．

例：本論文の執筆過程において文章の可読性と言語の改善に生成AI（Chat GPT 5.1）を用いた．

5．利益相反（COI）開示

日本医学会COI管理ガイドラインに従って，開示すべきCOI状態がある場合には，編集委員会に対して開示し論文の最後に以下の例を参考に記載する．

例：〈COI開示〉著者1：A製薬，B製薬，C製薬
著者2：A製薬
著者3：C製薬

6．投稿の分類

・原著（original article）

学術論文であり，著者のオリジナルである内容を著したもの．

・症例報告（case report）

症例についてその詳細を著した論文．あるいはケースシリーズ．

・総説（review article）

重要なテーマについて，現状や領域の課題を解説し，展望を論じたり，提言を行う．

・特別報告（special report）

編集委員会が特定テーマについて依頼する．シンポジウム報告，座談会記録など含む．

・短報（brief report）

小規模研究・調査・実践報告・教育プログラムの初期成果など簡潔に報告する．活動報告，実践研究を含む．図表を中心とした報告も可とする．

・Video Communication

動画を用いた，診察，手技，画像（エコー，内視鏡，CT連続画像等）による，教育的または新規性の高い報告．1動画あたり5分以内，250MB以内とする．形式はMP4あるいはMOVなど．

＊論文の内容は地域医療関連領域の原著，症例報告，総説，特別報告，短報，Video Communicationなどとする．総説，特別報告は原則として編集委員会から依頼する．なお，原著として投稿され，査読の結果，原著の要件を満たさないと判断された場合，編集委員会より区分変更を依頼し，「探求（exploratory report）」として掲載する場合がある（分類表）．

7．論文の採否

投稿論文の採否は，原則として査読者と編集委員による査読および，本編集委員会の審査を経て決定する．

8．原稿規定

1）原稿の構成

原稿は，表題，著者名，所属，抄録，英文抄録，キーワード（日本語・英語），本文，謝辞，生成AI使用（有の場合），利益相反（COI）開示，文献，図表，図表説明の順とする．原著論文では構造化抄録（目的・方法・結

Presented by Medical*Online

NO	1	2	3	4	5	6
種類	原著（original article）	症例報告（case report）	総説（review article）	特別報告（special report）	短報（brief report）	Video Communication
内容	学術論文であり，著者のオリジナルである内容を著したもの.	症例についてその詳細を著した論文.	重要なテーマについて，現状や領域の課題を解説し，展望を論じたり，提言を行う.	編集委員会が特定テーマについて依頼する．シンポジウム報告，座談会記録など含む.	小規模研究・調査・実践報告・教育プログラムの初期成果など簡潔に報告する．図表を中心とした報告も可とする.	動画を用いた，診察，手技，画像（エコー，内視鏡，CT連続画像等）による，教育的または新規性の高い報告.
査読	有	有	有	有	有	有
投稿受付	有	有	無	無	有	有
原稿依頼	無	無	有	有	無	無
本文の総文字数	8,000字以内(JP) or 3,000 words maximum (EN)	3,000字以内(JP) or 1,500 words maximum (EN)	9,000字以内(JP) or 3,500 words maximum (EN)	制限なし	3,000字以内(JP) or 1,500 words maximum (EN)	800字以内（JP） or 600 words maximum (EN)
著者数	20	10	10	10	10	10
抄録	400字以内	400字以内	400字以内	400字以内	400字以内	400字以内
英文抄録	250 words maximum, structured	250 words maximum, unstructured	250 words maximum, structured or unstructured.	250 words maximum, unstructured	250 words maximum, structured or unstructured.	250 words maximum, structured or unstructured.
キーワード（日英併記）	3-5語	3-5語	3-5語	3-5語	3-5語	3-5語
図表 380字/1点（8X8cm）で換算	図と表合わせて6つまで	図と表合わせて4つまで	図と表合わせて6つまで	制限なし	図と表合わせて4つまで	動画は1本５分まで 最大で２本で１０分まで 動画の他に1つまで
文献数	40編以内	10編以内	150編以内	10編以内	10編以内	10編以内
その他						動画の初めにタイトル，次にCOIを出してからMainの構成に進むこと

果・結論）を必須とし，本文は緒言（または背景），方法（または方法と対象），結果（または成績），考察，結語（省略可），謝辞等，文献の順で示す．症例報告では緒言（または背景），症例，考察，結語，文献の順で示す．総説，特別報告，短報については，原著論文の構成に概ね準ずるものとするが，構成を変更する場合は，投稿の際にその理由を付す．

2）原稿の表記

日本語で表記する場合の句読点は「，全角カンマ」「．全角ピリオド」とする．薬品の記載は原則として商品名ではなく一般名とする．日本語化していない外国語，人名，地名，薬品名は原語のまま用いる．略語を用いる場合はその初出の箇所で内容を明記する．年号は西暦とする．○○大学○期卒や○○県○期卒等の表記は避け○○大学○○○○年（西暦）卒業（○○県出身＊）とする．（＊必要な場合のみ）

3）必要記載事項

原稿は，投稿の分類とタイトル，図表点数，著者名と所属（著者が複数の場合，それぞれの所属が分かるように記載する），

4）図表・動画

図表は厳選し，本文中の記載よりも図表を用いた方が明らかに理解しやすくなる場合に限り使用する．図表は本文の出現順に通し番号とタイトルをつける．写真のカラー掲載可．動画は原著とVideo Communicationのみ使用可能とする．

5）引用文献

他の論文等から引用する場合は，当該論文の著者と出版社の掲載許可を得ておくとともに出典を明記する．文献は，本文中に引用順に肩付き番号をつけ，本文の最後に引用順に記載する．

・雑誌の場合

著者名（３名までとし，ほかは“他”，“et al”と記す）：タイトル．雑誌名 年；巻（号）：始頁－終頁.

・書籍の場合

著者名（３名までとし，ほかは“他”，“et al”と記す）：章名，編集者名．書名．地名，出版社名，年，始頁－終頁.

・ウェブサイトの場合

著者名．当該ページのタイトル（引用符付き），サイト名称（任意） 発行日（任意） URL アクセス日付（丸かっこ）.

Presented by Medical*Online

{文献表記例}

・雑誌

1) 山脇博士，二神生爾，坂本長逸，他：日本におけるFD患者に対してacotiamideが及ぼす上下部消化管症状の検討．潰瘍 2016；43（1）：121-125.

2) Stanghellini V, Chan FK, Hasler WL, et al: Gastroduodenal Disorders. Gastroenterology 2016; 150（10）: 1380-1392.

・書籍

3) 高橋三郎，大野裕 監訳：DSM-5精神疾患の診断・統計マニュアル．東京，医学書院，2014.

4) Jameson LJ, Fauci AS, Kasper DL, et al: Harrison's Principles of Internal Medicine 20th edition. McGraw-Hill, 2018.

・ウェブサイト

5) Evanston Public Library Board of Trustees. "Evanston Public Library Strategic Plan, 2000–2010: A Decade of Outreach." http://www.epl.org/library/strategic-plan-00.htm（accessed 2005 Jun 1）

9．原稿の保存形式と必要書類について

本文はMicrosoft Word形式で保存したファイルとそのPDFファイルの両方を送付する．図表は作成したアプリケーションで保存したファイルとそのPDFもつける．画像はJPEG，PNG，TIF形式を原則とする．これらの画像等を組み込んで作成した図は，各アプリケーションで保存したファイルとそのPDFファイルもつける．また，可読性のため査読完了後出版前に高解像度のものを改めて提出依頼する場合がある．

著者名と所属，連絡先（住所，電話番号，FAX番号，Eメールアドレス）を明記した投稿連絡箋，および全共著者が投稿に同意し内容に責任を持つことを明記し，全共著者の署名を添えた著作権委譲承諾書を送付する．

10．原稿の送付方法について

Eメールに添付，あるいは容量が大きい場合，動画などはオンラインストレージで受け付ける．送付の件名は「投稿・○○○○（著者名）」と表記する．

11．掲載原稿の著作権と利用許諾基準

論文等の著作権（著作権法27条 翻訳権，翻案権等，28条 二次的著作物の利用に関する原著作者の権利を含む）は，公益社団法人地域医療振興協会に帰属する．当該協会は，当該論文等の全部または一部を，当協会ホームページ，当協会が認めたネットワーク媒体，その他の媒体において任意の言語で掲載，出版（電子出版を含む）できるものとする．

12．転載・二次的利用について

当該論文の転載・二次的利用については，「月刊地域医学」編集委員会事務局あてに申請し，編集委員会により諾否を決定する．

13．掲載料金

掲載料金は無料とする．

14．問い合わせ先

月刊地域医学に関する問い合わせ先：

「月刊地域医学」編集委員会事務局

E-mail　chiiki-igaku@jadecom.jp

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階

公益社団法人地域医療振興協会「月刊地域医学」編集委員会事務局

TEL 03-5212-9152　FAX 03-5211-0515

15．月刊地域医学編集室（論文投稿先）

投稿論文の受付，制作実務を担当．投稿受付後は下記編集室より著者に，受付日，受付番号をE-mailにて連絡．審査状況や原稿要領等の問い合わせは，下記編集室あて．

(株)メディカルサイエンス社内 月刊地域医学編集室

編集室　chiiki-igaku@medcs.jp

投稿先　ronbun-chiiki@medcs.jp

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷２丁目21-15

松濤第一ビル３階

TEL 03-5790-9831　FAX 03-5790-9645

16．施行日および改訂履歴

この投稿規定は2025年12月より施行する．以降の改訂は編集委員会の承認を経て行い，本誌及びWebジャーナルHPに掲載する．

Presented by Medical*Online